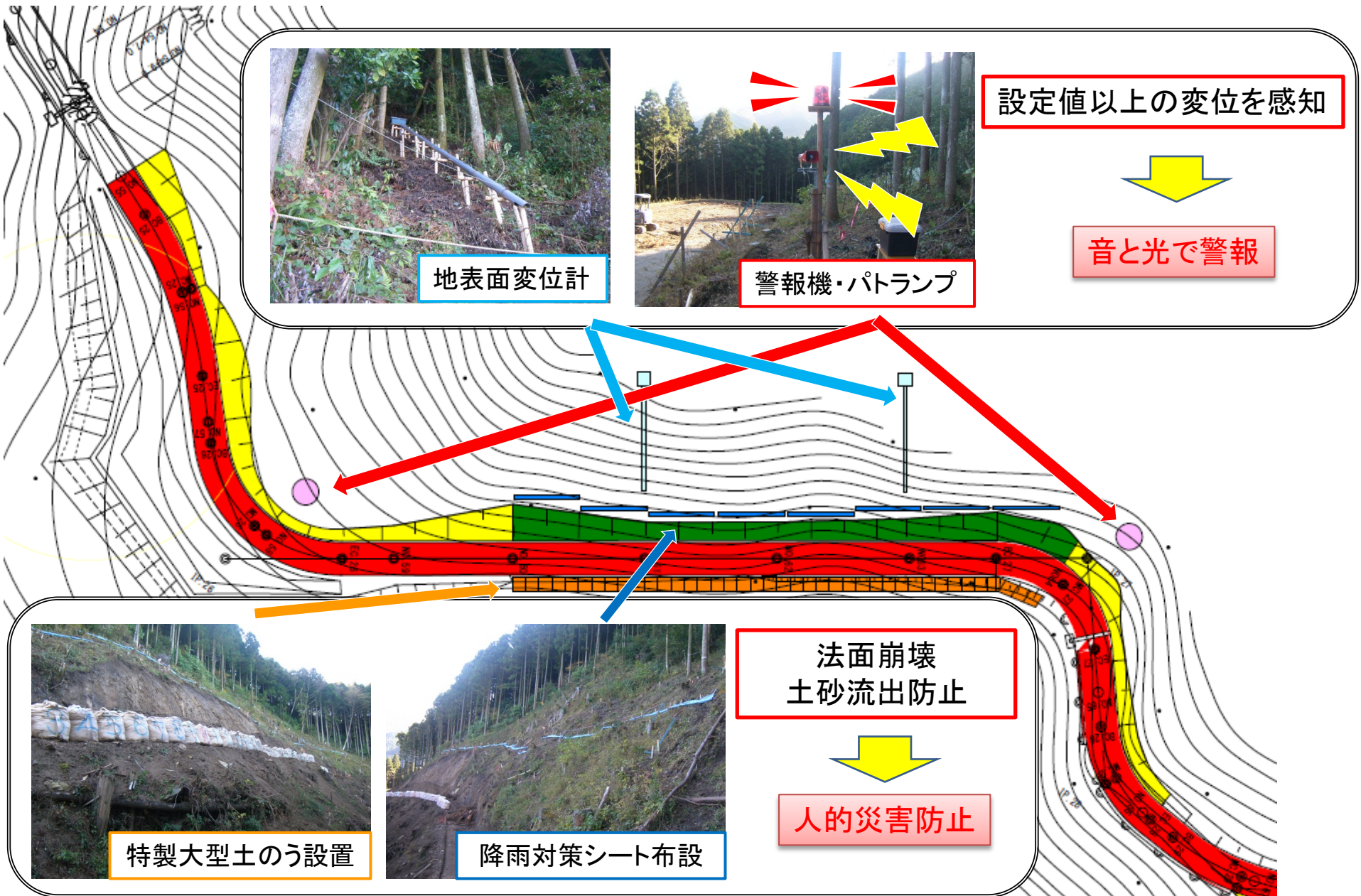


I .切土法面における土砂崩壊災害防止

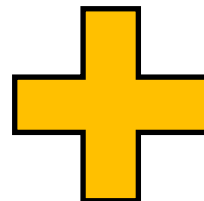


①地滑り計の設置

地表面変位計



パトランプ、警報器



地滑り計



掘削法面上部に設置

設定値以上の変位を感知



音と光で警報

②降雨対策シート



- ・降雨時、切土法面に布設することで、法面の浸食を防ぐ

③特製大型土のう設置



- ・法肩に設置することで、土砂の流出を防ぐ
- ・下流へ流出することでの第三者災害を防ぐ

Ⅱ.重機作業危険時の見える化

①保安距離の見える化

ドラグショベルの運転者には死角がある
作業半径を再確認し、作業員の巡回範囲内で作業の危険を再認識した



②重機吊荷旋回時転倒の見える化

・平坦地の場合

ドラグショベルは、上部旋回体がクローラーに対して平行な場合と直角の場合では、安定性が異なっている。

あえて法令で定められた重量以上の荷をつり、旋回させることで、危険を体感し、安全な状態での作業の重要性を再認識した

平行の場合



直角の場合



②重機吊荷旋回時転倒の見える化

・斜面地の場合

斜面では、平坦な場所と比べ、機体のバランスが大きく異なる
斜面での旋回を体験し、機体のバランスの重要性を再認識した



③フロントガード設置



④安全標識



- ・掘削法面が軟岩層のため落石の恐れがある
- ・重機前面に設置し、落石からオペレーターを守る
- ・切土掘削箇所の入り口に設置することで注意を喚起した